

提案説明書

省エネ効果を定量的に示すことはできませんが、一定の効果は得られるかと思われます。

・PC 設定の見直し

ディスプレイのスリープまでの時間を5～10分程度に短くすることにより、ディスプレイの点灯時間を短くする。省エネ効果は極めて小さいかもしれないが、すぐに実践でき、省エネの意識を高めることができる。

また、情報漏洩等の観点からも短く設定することは有効な手段といえる。

ディスプレイの電源を切ってから帰宅する。

・一斉休暇の拡大

現在実施している夏季休暇に加え、お盆、ゴールデンウィーク、年末年始等の連休に連続するよう一斉休暇を拡大させる。規程等の改正や労使協定書の締結等が必要となる。

また、ワーク・ライフ・バランスの効果が期待できる。

・“省エネアイデア” コンテストの定期的な開催

“省エネアイデア” コンテストを開催することにより、省エネに対して、主体的に考えることができるため、省エネに対する意識付けが期待できる。

・VPN 接続時（テレワーク）の電源つけっぱなし問題

VPN 接続をする際に、前日に電源を入れたまま帰宅する人がいるため、テレワーク実施日の当日に電源を入れてもらうよう係内（課内）の人をお願いしておく。

ハード面の対策について

- ・照明のLED化
- ・高効率空調への更新
- ・建物の減築
- ・照明の消忘れ防止制御